

令和7年度 保育所等訪問支援事業 自己評価表

事業所名 四日市市立あけぼの学園保育所等訪問支援事業所

公表日 令和 8年 2月24日

		チェック項目			工夫していると思う点 改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
			はい	いいえ		
体制整備 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○		・日頃お子さんが使用している訪問支援先の教材等を使用して支援しています。 ・支援実施後に必要な場合には、教材教具の紹介をしています。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・職種や人数は配置されているが、兼務で他の支援も行っており、訪問できる日が限られています。	職種間で連携しながら、様々な視点をもって充実した支援が実施できるよう工夫していきます。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		・毎年実施しています。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・訪問支援の経験が少ない支援員には、他の支援員の訪問に同行し、経験を積んでもらえるよう工夫しています。 ・学園全体として研修の機会があります。	
	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		・学園内の他の事業所を利用している姿や発達検査等の情報についても把握し、保育所等訪問支援計画を作成しています。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・子どもたちの思いや意図をくみ取り、発達段階に応じた適切な支援や環境を整えること等を職員間で確認しながら計画を作成しています。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		事前に、先生方より集団生活や学習の姿についてお聞きしながら意見を取り入れています。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			

適切な支援の提供	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・訪問前には、他職種からの見立て、最近の様子など情報収集・共有するようにしています。 ・発達検査や医師の意見書などからも子どもの姿について把握しています。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・一度の支援に複数の職員が訪問することはないが、支援前に他職種間の連携（情報収集）ができる環境にあります。	
	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・振り返りを行い、支援内容について共有しています。	
	16	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		・事前に訪問支援先からも現在の支援について聴き取り、当日も、先生方と一緒に考えながら支援を行うことができています。	
	17	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○			
	18	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・訪問支援時には必ず家族や訪問先の意向を確認し、見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・サービス担当者会議は児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	20	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・必要に応じて連絡をとっています。	
	21	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・必要に応じて連絡をとっています。	
	22	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		・研修（園内研修、外部研修）に参加しています。	
	23	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		・代表者が参加しています。	
	24	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・学園内の他の事業所を利用しての姿についても把握し、話ができるようになっていきます。	

	25	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・支援後に家族への報告の中で、家庭生活の中で活かせるような取り組みや工夫等について伝えています。	参加できる講演会等の情報発信については、必要に応じて対応してまいります。
保護者等への説明等	26	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	27	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		・訪問支援前に、目的を記載した文書を送付しています(日程調整時にも伝えています)。	
	28	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	29	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○			
	30	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		・電話等で対応しています。	
	31	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・電話または必要に応じて面談を実施するなどしています。	
	32	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・ホームページにて事業の概要を掲載しています。	
	33	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・契約時に重要事項説明書にて家族に説明しています。	
	34	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	訪問先施設への説明等	35	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		・電話等で相談に応じています。
36		保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		・支援実施後に話し合いを行っています。	
37		保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		・支援実施後に報告を行っています。	
38		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・事前の情報確認は学園内で行い、訪問の際も個人ファイルは持ち出さないようにしています。	
39		訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		・先生方の話を丁寧に聞いていく中で配慮しながら助言を行っています。	

非常時等の対応	40	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各マニュアルを策定し、訓練を実施しています。	
	41	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	42	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	43	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・虐待防止委員会を設置し、研修会も行っています。	
	44	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、保育所等訪問支援計画に記載しているか。	○		・身体拘束等の適正化のための指針を作成掲示し、周知に努めています。	